

# 身近な支援体制づくりが児童虐待から家族を救う

児童虐待による痛ましい事件が全国で相次いでいる。大阪府内の児童相談所(以下児相)に寄せられた児童虐待相談対応件数は年々増加しており、平成27年度は16,581件(大阪市、堺市含む)で6年連続全国最多となった。社会的背景には何があるのか、虐待を防ぐためには何が必要なのか。

## 相次ぐ虐待事件に警察の介入を強化

**相**談対応件数の増加の一因として、児童虐待の事件報道により、虐待への社会的認知が高まっていることが挙げられる。また、子どもの目の前でDVが行われる「面前DV」が虐待にあたるとの認識が広がり、DVへの警察の介入から通告に至るケースも増えている。

府内で発生した虐待事件を受け2月、府は児相と府警が情報を共有して子どもの安全確認と安全確保を行うこと等を盛り込んだ協定を締結。さらに府警では平成29年度から「児童虐待対策室」を新設した。児童虐待に特化した部署の設置は全国初だ。児相の情報を共有することで虐待事案を

把握し、所在不明の子どもの積極的な安否確認や、虐待の疑いがあると判断した場合の介入など、虐待への対応力を強化する。

## 地域の相談から早期発見と未然防止を

**大**阪府では平成23年2月に「大阪府子どもを虐待から守る条例」を施行し、通告から48時間以内の安全確認や、妊娠期からの切れ目のない子育て支援などに取り組んでいる。また同条例では、アルバイト代など子どもの財産を不当に処分することを「経済的虐待」と明確化されている。

一方で、相談・通告があっても死亡事例に至るケースはある。府の担当者は「虐待

- 【身体的虐待】殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく搔きぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
- 【性的虐待】子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ボルノグラフィの被写体にするなど
- 【ネグレクト】家に閉じ込め、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になってしまって病院に連れて行かないなど
- 【心理的虐待】言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV)など



を確実にキャッチし支援につなげる必要がある。地域の方にも協力いただきながら、家族が孤立しないよう見守ることが大切」と話す。児童福祉法及び児童虐待防止法では、全国民に対し、虐待が疑われる場合は通告することを義務づけており、府でも「躊躇せず相談を」と呼びかけている。

## 「虐待」と「しつけ」の違いとは

**日**本子ども虐待防止学会の理事などを務める、山梨県立大学人間福祉学部の西澤哲教授は「しつけ」は、子が「不快」に感じていることを「快」に立て直す手伝いをし、自立心を育むことだと定義する。一方、虐待は大人が自分の精神的安定のために子どもを利用、濫用しているに過ぎない。親は濫用したことを正当化せず、子どもに謝罪すれば、心理的影響は和らぎ、親自身も濫用を回避できるようになるという。

虐待は、さまざまな要因や背景が複雑に絡み合って起こる。著しい虐待行為よりも実は、「グレーゾーン」の方が多いのではと西澤教授は指摘する。「子どもの不快を快にするお手伝い」を頭に置き、子どもに接することが大切だ。

## 世界で活躍するそら植物園代表 西畠清順さん

**そ**ら植物園(池田市)は、いわゆる「植物園」ではない。150年続く花と植木の卸問屋「花宇」の五代目、西畠清順さんが2012年に始めた植物のコンサルタント事業である。植物の魅力をより広く伝えるため、行政機関や企業、クリエイターなど、幅広いクライアントからの案件ごとに相応しい専門家と連携してプロジェクトを実行する。西畠さんはクリエイターからの要望に応えるべく、プランタンターとして世界各地、日本全国を飛び回って植物を収集している。扱う植物は日本でよく見かけるものと趣を異にしており、西畠さんは「大量生産されたものや規格的なものに魅力を感じない」と、独自のスタイルを貫く。



プランタンターとは元々、17世紀ごろのイギリスで、王族や貴族の觀賞用植物などを世界中に探し求めた人たちのことを指すといつ。

神戸では、メリケンパークにできたカフェFISH IN THE FORESTやSOLの屋上庭園などの植物プロデュースを手掛けたが、最近は東京や地方、海外での活躍が増えているといふ。それでも川西市に住み、本社もその近くに構える。拠点を移そうとは思わないのは「川西が好きだから。京都・大阪・神戸の真ん中にあって空港も近く、すぐそばに自然もある。これ以上良い場所はない」。地元川西市の街づくり大使に任命され、2ヘクタールの公園をプロデュースしたり、池田市を植木の産地として再活性化するプランニングにも携わる。東京・大崎では大規模な緑化プロジェクトを成功させ、街の姿を大きく変えたと話題になったそう。こういった「街づくりにもっと関わりたい」と、関西の活性にも意欲を見せる。



西畠さんが地元・兵庫県ではじめて手がけた、神戸国際会館SOLの屋上庭園「そらガーデン」。

最近、川西市から池田市に本社を移した本社兼農場では、ヨーロッパやアジアなどから仕入れた年300トンほどの植物、数千種類を備蓄している。見たことのない植物ばかりで、圧巻。

## 特急「サンダーバード」JR高槻駅に停車

**大**阪と北陸を結ぶ特急「サンダーバード」が、3月4日のダイヤ改正からJR高槻駅に一部停車している。昨年3月には、京都と関西空港を結ぶ特急「はるか」が停車しており、ますます交通利便性の高い駅となった。

「はるか」の停車は、ホームの混雑解消や安全性の確保のためホームが拡充



されたことに併せて実施された。その後、「はるか」の乗客数が順調に伸びたため、今回の「サンダーバード」の停車が決定したという。市は「特急停車の拡充により、旅行やビジネスに大変便利になる」と魅力が高まった街をPRしている。

## 箕面ビール 金賞受賞イギリスの品評会で

**3**月にイギリスで行われたビールの品評会、インターナショナルブルーイングアワード2017で、箕面ビールが製造・販売するクラフトビール「W-IPA」が金賞を獲得した。1888年の初開催以来、数年に一度イギリスで開催され、通称“ビールのオスカー賞”と呼ばれる世界で最も歴史のあるビール品評会の一つ。



今回受賞した商品は、通常の2.5倍のモルトとホップで仕込んだアルコール度数9%のストロングエール。また、アルコール度数5.5%の黒ビール「Stout」は銅賞を獲得した。担当者は「クラフトビールをもっと多くの人に飲んでもらいたい」と話す。

## 性犯罪被害に遭わないために

協力: 大阪府警察

大阪府は、平成28年中の強制わいせつ事件の認知件数(※被害届が出された件数)が936件で、全国最多となっている。性犯罪は被害届が出されていないケースも多く、実際に発生している件数は認知件数を上回っていると考えられる。

- [発生状況]
- 被害者の年齢は10~20歳代が全体の約8割を占める
  - 発生場所は道路上が半数以上を占めて最も多く、続いて、マンション・団地等の共同住宅が多い
  - 午後9時~午前0時台の間に多く発生。全体の約4割を占める

- [実際の被害事例]
- 道路を歩いている女性の後ろから抱きついで口をふさぎ、身体を触る
  - 道を尋ねる等、声をかけて女性に近づき、身体を触る
  - 女性がマンションのオートロックを解除や、玄関ドアを開けようとする際に、後ろから抱きつき身体を触る

女性を狙った性犯罪は、人通りの少ない夜道やマンション・アパート等の共同住宅内で多発していることから犯罪を未然に防止するためのポイントをチェックしておきましょう。

### 「ながら歩き」をやめましょう

スマートフォンを操作しながら、イヤホンで音楽を聴きながら歩くと注意力が散漫に。不審者に気付かなかったり、交通事故に遭う危険性も。

### 周囲を確認しましょう

夜道を一人で帰る時、マンション等に入る前に、必ず後ろを振り向いて不審者がいないか確認しましょう。

### 必ず鍵をかけましょう

帰宅したら必ず玄関の鍵・ドアチャーンをかけ、オートロックや高層階のマンションでも窓やベランダの鍵をかけるようにしましょう。

### 防犯ブザーを携帯しましょう

いざという時、すぐに使えるよう携帯し、電池切れや故障がないかこまめに確認しましょう。

- 性犯罪の被害にあわれた方、ひとりで悩んでいませんか。どうかひとりで悩まないで、ご相談ください。相談は匿名でもOKです。

カーマンラインは性犯罪被害相談専用電話です。  
**06-6941-0110**  
に電話してください。

平日9時~20時は、女性警察官が対応  
(土日祝および上記以外の時間帯は、留守番電話で対応)